

ゆいのもり通信

No. 11

2004年9月1日発行

ゆいのもり編集委員会

昭島市田中町1-1-9

TEL042-545-5451

**あなたの自立を援助する
精神障害者のためのホームヘルプサービス。
いよいよ始まります！**

2004年10月より、昭島市でも精神保健福祉法に基づき、精神障害者のためのホームヘルプサービス制度が始まります。この制度が、私たちの暮らしにどんな風に役立ち、どんな使い方ができるのか、ちょっと調べてみました。

ホームヘルプサービスってなに？

心の病からの回復途上の方が、日常生活で困ることって何でしょう。たとえばからだのだるい、なんだか落ち着かない、集中力や意欲がない、不安感が強い、他人のことが気になる…。そんなことから、作業所への通所ができなくなったり、家族や他人との関係がギクシャクしてしまう。食事や部屋のそうじなどの日常の家事がおっくうになり、健康を害したり、衣服や部屋の清潔を保てなくなる。公共機関などの手続き方法が分からなくて困ったり不安になったりする…。

そんなときに、親身になって家事を引き受けたり、話を聞いてくれる人が身近にいたら、どんなに心強いことでしょう。『精神障害者ホームヘルプサービス』は、そういう場合に無料、もしくは所得に応じて安価で利用できる公共の制度です。

利用したいときはまず市役所の窓口へ

利用の申請は市役所の生活福祉課の窓口へ。精神障害者手帳をもっているか、障害年金の受給者であれば、まず利用することができるでしょう。これに該当しない人も作業所の職員などに相談してみましよう。

利用までには多少の手続きが必要ですが、むずかしいことはありません。手続きがすむと、昭島市が委託したホームヘルプ派遣業者から、ヘルパーさんがやってきます。自分の家に他人が入るのは嫌だという人でも安心です。あなたの秘密は固く守られますから。ヘルパーさんが来る回数や時間帯、手助けしてもらいたい内容などは、利用する人の希望を考慮して決められます。

たとえば食事に困っていたら、ヘルパーさんと一緒に食事を作ったり、掃除が苦手だったら、部屋の掃除をお願いすることができます。場合によっては買い物や通院に同行してもらいすることもできます。でも、ヘルパーさんは家事をするだけの家政婦さんじゃありません。あなたの自立を援助する資格をもったプロなのです。

そうなんです。ホームヘルプサービスは、地域の中で暮らしていこうという人の強い味方。あなたも一度、利用してみませんか？



昭島市精神障害者ホームヘルプを実現する会の主催する学習会。(5/17)

62名が参加し、当事者の要望を反映させるよう市へ意見書を提出。

食工房ゆいのもりのパートです。

給食でメンバーはどんな仕事をしているの？

メンバーの牛崎美枝子さんに給食の仕事をレポートしてもらいました。

Q. どんな仕事をしていますか？

A. 午前 10 時から 12 時に材料の仕込み（野菜、材料の刻み）・盛り付け・食器の準備をしています。始めは高橋さんと作業しましたが、今年の 5 月から毎週火曜日に給食担当の斉藤秀子さんとしています。

Q. 仕事の様子はどんな感じですか？

A. 担当の斉藤秀子さんとワキアイアイで給食の仕事をしています。刻みが速くできるようになりました。手を何回も洗ったり、盛り付けで 1 人 1 人同じ量にする点では気をつかいます。りんごでうさぎの形を作ったけど難しかった。切干大根の煮付けは 1 人ですべて調理しました。

Q. これからやってみたいことは？

A. 野菜や魚の味付け。

給食の後片付けも分担して行っています。

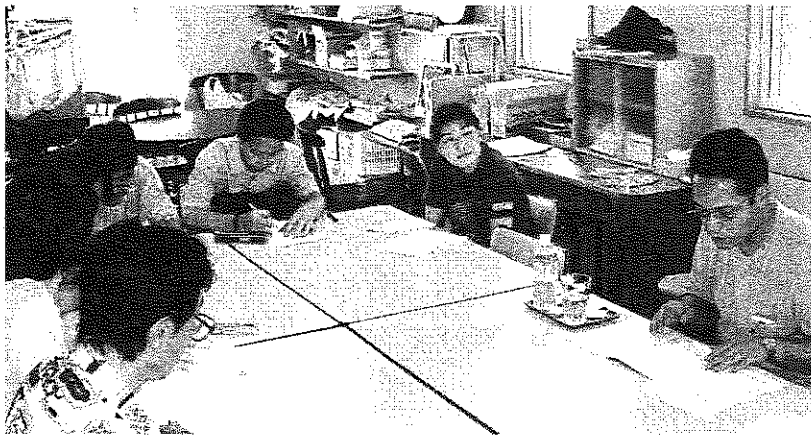


就労へ向けての勉強会をしました。

7 月 9 日（金）、ゆいのもり社に在籍しながら、モリタウンで清掃の仕事をしている三好浩貴さんを講師に迎え、就労勉強会を開催しました。（メンバー 7 名・職員 4 名参加）

1. 現在の仕事について、2. 就職活動について、3. 日常生活についてという内容で講演していただき、その後質疑応答の時間を持ちました。

働くなかでの楽しいこと、難しいこと、作業所での仕事と異なる点、就職活動の方法やアドバイス、仕事をしながらの日常生活の仕方などを、三好さんには具体的に話していただき、メンバーも自分自身の将来について考えるよい機会となったと思います。



参加メンバーの感想例

障害者と、OPEN にして働いたほうが後で続くかなとわかりました。あいさつ、かげ口を言わないなども大事ななと思いました。（K・F さん）

日常生活についての食事・洗濯はなれでなんとかなると三好さんが言ってくださったので安心しました。（沖田艦長）

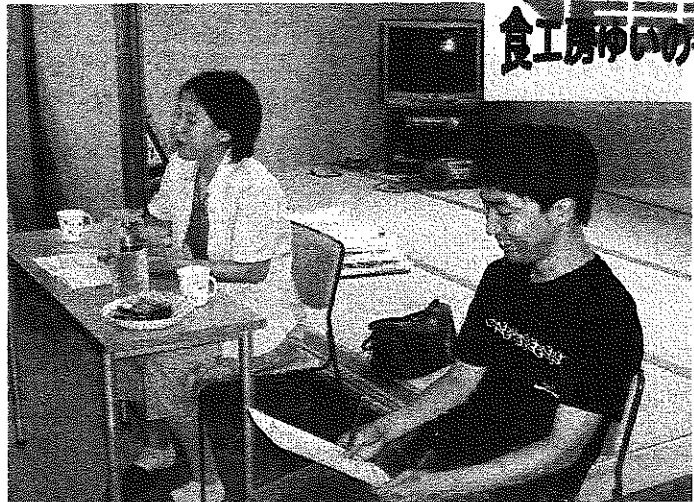
病気との付き合い方の勉強会をしました。

2004 年 6 月 25（金）、食工房ゆいのもり OB の A さんをお招きして、テーマ「病気とのつきあいかた」についての学習会を行いました。（メンバー 15 名・職員 6 名参加）

A さんは、食工房ゆいのもりの退所後、授産施設で就労訓練を行い、現在は週 3 回福祉施設で働いています。

1. 発病したころの様子、2. 授産施設作成のチェックリストを使って自分自身の課題を見つけ努力したこと、3. 授産施設終了後、障害を隠して働いたが失敗したこと、3. 障害をオープンにしジョブコーチ制度を使って現在の仕事についてしたことについて話していただいた。

また、話だけではなく、実際チェックリストを使って自分の課題をみつけたり、疲れたときの対処法など楽しい質疑が続きました。



参加メンバーの感想例

- 授産施設で就労訓練をしたり、ケーキ屋でアルバイトをして挫折したり、現在は清掃などのアルバイトを週に何回かしているとのことでした。私も同じような清掃の仕事をしてみようかなと思いました。(Kさん)
- 今の自分には、1日4時間、週3日という仕事でも無理かなと思った。でも元気付けられた。(Nさん)

旧 共同作業所 食工房ゆいのもり 回想記 I

～1992年(開設準備)から1994年頃～

通称授産施設『食工房ゆいのもり』の前身である共同作業所11年(1992年～2002年)の歩みを、連載(3回)する予定です。(職員:嶋田 敦子)

1992年頃、ゆいのもり社(第1作業所)は3年目の活動中でしたが、増してくる利用希望メンバーの受入をスムーズにできるようにと第2作業所の開設準備を計画中でした。そのころ、ちよどんんの学校を卒業したばかりの私に作業所でパンを作りたいので準備をいっしょにしないかとお誘いがありました。はじめは半信半疑でしたが、具体的に動く事が上手なゆいのもりの皆さんと一緒にコンなどの食品を製造している施設を見学し、準備委員の方々とお話あううちに可能性が見えてきました。まさに開設準備はヒト・モノ・カネをそろえることが急ピッチですめられました。

ヒト 他界された佐直さん(公民館職員)と吉野先生(昭島保健相談所長)に準備委員として大変お世話になりました。当時、運営委員長の酒井さん、運営委員を兼ねて協力の田中さんと吉村さん、浅川・吉田・奥田の3名の職員、これらの準備委員の皆さん有り難ございました。石川先生(昭島幼稚園)と沢上さん(中神都営自治会)には地域の皆様とのかけはしとして作業所の11年間通じ協力いただきました。他にも沢山の皆様のご厚意により支えられてきましたが、今日の授産施設へ発展できたこともこの皆様のご尽力のたまものと思っています。

モノ シン機材の中古品…あるシン屋が廃業することになり、オープンほか機材を分けてもらうことができました。

活動場所……古い建物だが中神都営アパート5号棟に決定しました。頑強な床・高い天井というシン作業に適した条件だったので。

カネ お金は全くない中でゆいのもりバザー収益の一部を自己資金として当てさせていただきました。協力者への寄付をお願いし、バザーでパンを販売、開設アピールのコンサートを開催しました。事務局では共同募金や各財団に設備面での助成を依頼する申請手続きをおこないました。

1993年1月～正式に活動がスタート、活動場所の工事は大工の朝海さんがすすめ、ペンキや管轄などゆいのもり社の男性メンバー数名が担当、3月上旬にはパン機材の搬入が整いました。国産小麦などパン材料について酒井さん(運営委員長)からアドバイスをいただき3月中旬にはパンを焼く実験が行われ4月の開店に向けて着々と準備がすすめられました。おかげさまで4月6日に無事開店することができました。ひよこ教室のみなさんがお祝いに来てくださいました。開店して最初の2週間は週4日パンを焼いていましたが、メンバーもスタッフもバタバタですぐ中止になり、週3回のパン焼きと週2回の自主活動というプログラムに変更しました。登録メンバーは開設時8名位からスタートしましたが2年後には24名まで増え、補助金ランクもBからAに変わり職員体制も2名から3名に変更になりました。1994年3月には新設される洗心センターに2名のメンバーを送り出すことになり、皆でお別れ会をしました。

現在の授産施設ではたくさんの種類のパンを製造していますが、開店当時は6種類くらいしか製造していませんでした。それでも日々失敗の連続でお客様にご迷惑をかけたことも多くありました。材料の無駄を省いたり販売のロスがないようにご予約制で販売配送するシステムは当初から同じスタイルで現存に至っています。工賃は1994年当時、時給180円くらいだったかと思います。

パンの日以外には合同ミーティング、キャンプ、餅つきなど、ゆいのもり社の皆さんと一緒にさせていただくことが多かったです。(次回へつづく)

★★平成15年度の事業報告と決算報告を公開しています。希望の方は食工房ゆいのもりにご連絡ください。★★

☆☆ゆいのもり社ではこんなことやっています☆☆

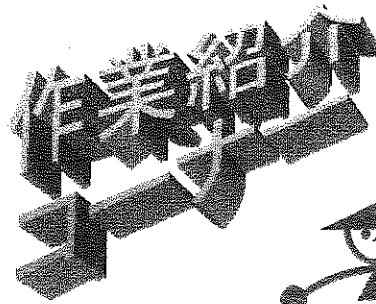
昭島市保健福祉センター日常清掃

保健福祉センターの清掃は、知的障害・精神障害などさまざまな障害をもっている方と清掃指導員とで行っています。市内の他の施設と協力しあって一緒に行っています。

現在約25人が毎日7名ずつシフトを組んで午前中、毎日清掃しています。

この建物の清掃を始めるにあたっては、清掃専門会社の研修を受けましたが、「こんな広い建物をどうやって清掃するのか」と不安だったメンバーの方も、今では自信をもって取り組んでいます。

また、メンバーの方の中にはここでの経験を生かして一般の会社に就職した方もいます。市には障害をもっている方の働く場として、清掃業務を位置づけていただいています。みなさまに保健福祉センターを気持ちよく利用していただけるように、これからもきれいにしていきたいと思っています。



<清掃で働くメンバーさんの声>

- 覚えることが多いが、やりがいがあるのでもっとたくさん働きたい。(Mさん)
- チームワークが大事だと感じた。だんだんと仕事を覚えてきて充実して働けている。ひと仕事後の休憩がリラックスできて楽しい。(Fさん)



がなくなる…!!!

<深刻な事態です (>_<) !!!>

ゆいのもり社で毎日大活躍をしているワゴン車(キャラバン)がディーゼル規制のため、来年の夏で乗れなくなってしまいます…。

現状では車を買う資金も厳しく、車両の助成事業を探していますが難しい状況です。トヨタ車のハイエースやオッサン車のキャラバンなど、清掃機材を運べる荷台のあるバンタイプの車をご寄附いただける方を探しています。

このご時世に大変恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご連絡先 **ゆいのもり社**
TEL/FAX 042(545)5451

メンバー投稿 04



日頃感じていること

藤原茂記



去年の6月からゆいのもり社に通いはじめて1年くらいたつ藤原と申します。

2月に多摩総合保健福祉センターのホステル部門を退所するまでそこからゆいのもり社に通っていました。センターでは最初の6ヵ月間は何事もなかったのですが、部屋を移動してから嫌がらせのような事をされるようになりました。というのは自分が部屋の中で鍵がかかっているのかどうか強迫的確認をするのを近くの部屋の人が気配で察して大きな音をたてたり、僕の確認行為の邪魔をするのです。大きな音をたてたりするほど確認行為が長くかかってしまうのをわかっているのかどうかよくわかりません。

気分転換に野球を見に行ったり、映画を見に行ったり、クラシックの音楽会に聴きに行ったりして気分をまぎらわせているのが現在の状況です。主治医の先生には隣の人の迷惑行為は甘んじて受けるようにしなさいと言われました。以前は1枚の定期券で山手線を何周もしたりしていましたが、最近は虹のセンター25(地域生活支援センター)に通ったりして少しでも有意義な時間を過ごせるように努めています。精神的に楽になれるようになれば、これ以上の喜びはありません。



ゆいのもり社の利用方法について



白井秀仁

精神に障害があって、たとえば障害2級の基礎年金をもらっている人が経済的に自立した生活を送ろうとすると、時給800円~850円で月20日、1日8時間働く必要があります。つまり、お給料が少なくても健常者と同じ仕事をするということです。いきなりそれだけの仕事をするのは無理です。ステップを踏みましょう。

例えば、ゆいのもりグループ(食工房・サード・ゆいのもり社)であれば、清掃・レジ打ち・接客・製パンなどに参加して経験を積みます。仕事の経験は働く場所がどこであれ必ず役に立ちます。一般社会で働こうと思ったら、一人で活動せずに職員さんに相談しましょう。あなたの就職を手伝ってくれる人々を紹介してくれます。そして、お医者様から許可をもらえば就職活動の準備は整います。そこから先が社会復帰になります。無理はやめましょう。すぐにあきらめる必要もありません。

大切なのは、あなたが得た経験をどう生かすのかということです。

日頃から、あなたの一年後の生活はどうなっているのかと想像しつつ作業所を活用しましょう。

白井さんは現在、某有名デパートでのパート勤務が決まり、連日ハードに働いています!!!



ザ・サード みんなのハーモニー 文化祭

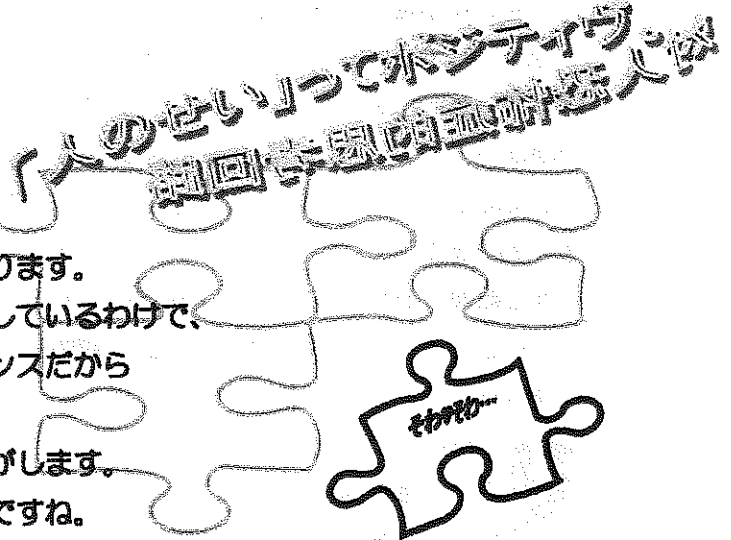
GAPとは…
 ①つばのある帽子
 ②ふた、栓
 ③ザ・サードの合言葉
 Creative Active
 Positive の略。

投稿作品1
詩

「私女の悩み」

M・A

「申し訳ない」は、誰でも
 (辺りかまわず)、ふりまわして、
 あたりちらして申し訳ない。ってのもあります。
 でも「申し訳ない」は、自分のせいになっているわけで、
 「人のせい」にするのは人と関わるチャンスだから
 それを否定している気がします。
 自分のせいにしてたって成長しない気がします。
 人のせいにしてる方がよっぽど前向きですね。



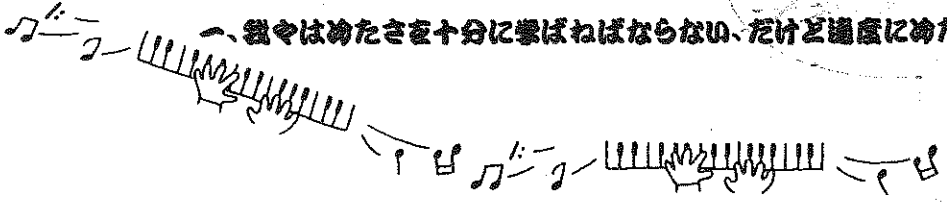
投稿作品2
箴言

「おじさんはガンバル！」

投稿者名: 死の淵より(第52)

- 一、ニブイ人が「しあわせ」になる。
- 一、試行錯誤さえできれば、かならず道は開ける。
- 一、量だけは、いくら与えても、へっていくという感じがしないな……てか。
- 一、たくさん笑える人は悲しむことのうまい人。
- 一、時々、怖くて隠れて前進し続ける。
- 一、勇気なのり、それをおぼえる。それは民主主義のはじめの一歩だと思うよ。
- 一、我々は命たさを十分に撃たねばならない、だけど過度に命たさというのはむずかしいね。

川エイトイヴな人生に、危ない



8月	7月	6月	5月	4月
<p>ザ・サードメンバー、ワット音楽会ライブ 観覧など予定通り開催中。</p> <p>音楽会 風気強い、観客も盛り上がり、カラオケ 奥多摩音楽会も開催中。</p> <p>男子プロレス観戦 ケーキバイキング</p>	<p>ピアスにて観覧 メンバー企画、多摩川コンソーケストラ鑑賞 男子プロレス観戦 ケーキバイキング</p> <p>ソフトバレー練習試合 VS 牧川虹の家 ピアスにて観覧</p>	<p>渋谷オーチャードホールにてミュージカル鑑賞 きょうとろくろ十番観戦 奥多摩キャンパス、バーベキュー</p> <p>有線テレビ観戦 つくてたべよう、サウザン</p>	<p>石和温泉一泊旅行(ゆ社と合同) 消費生活センターにて出店 カナカテ見学ツアー(陶器等の作品鑑賞) 大相撲観戦(十四日放送のアー 女子プロレス 有線テレビ観戦 つくてたべよう、サウザン</p>	<p>お花見 羽村動物公園にて 十六年度音楽鑑賞スタート(以後十数回実施) メンバー企画 散歩部、羽村ユースセンター 健康講座「昨日の食事を振り返り、明日の 吉祥寺ユースセンターにて 新職員(常務) 明島ふるさと ケーキバイキング ホームヘルプセンター、ハルシエが メンバー企画、コンサートが大 健康講座「明日の食事を振り返り、明日の 北多摩音楽会より実施中</p>



投稿作品3

漫才

話：ゆうこりん&むつりん

「喫茶森のまきっ返したっ！」

アクティヴっ娘。



む「売上ダウンしてるんだって。なんか秘策はないかな？」
 ゆ「喫煙席を復活させたいな」
 む「吸えないならいいやって帰っちゃうお客さんもいるしね」
 ゆ「やっぱり行動行動でサービスよくしていくしかないでしょ」
 む「そうだね。お客さんともっとお話したらどうかな。ハンデのある人にもね。あたしは手話でお話できたらいいな」
 ゆ「じゃあ、あたしはみんなの膝を触ってあげる(≡^∇^≡)」
 む「お触りパーじゃん！」

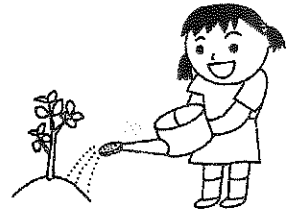
ゆ「お弁当をやるとか、どう？」
 む「あ、それ計画中らしいよ。不景気だし、もうお客さんを待ってるだけじゃダメなのかも」
 ゆ「新メニューでお酒を出したらいいんじゃない？」
 む「それは市に止められちゃうだろうな」
 ゆ「じゃあ、あたしの色気で客を酔わせるわ(〽)-♥おほほ」
 む「またあ!? とにかくいいお店ですので1度ぜひおいでやすです。そのうちあたしの手話もお目見えするかも？」
 ゆ「あたしの膝マッサージも！」
 む「いいかげんにしなさい！」



ザ・サード

新職員ご紹介

緒方洋子(おがたようこ)(^o_0^)



「せいほ」って...生命保険のことかしら...

サードの一日はスピード感あふれる厨房作業から始まります。縦横無尽に動き回る職員の中で、ひとり右往左往しているのが私です。3月から仕事を始めてはや半年になりますが、新しいことをひとつ覚えてはそれと引きかえに何かを忘れてしまうような毎日です。

会社勤めを経て栄養士の学校に入学したのも大きな方向転換でしたが、さらに精神保健福祉という別の方向へハンドルを切ることになりました(しかも急ハンドル!)

作業所というものについて何も知らずこの世界に飛び込んだずぶのシロウトなので、これまでとは畑の違う職場に戸惑うことも多いのですが毎日とても新鮮なことばかり。メンバーとの旅行や音楽練習は私自身が大いに楽しませてもらっています。

普段はメンバーとダジャレ合戦が止まらないお調子者の私ですが、実はお互いを思いやりながら自分の意見もしっかり言える強さをあわせ持つメンバーに感心することしきりなのです。やさしく、そして忍耐強い(^_^;)メンバーや職員の皆さんにあたたかく見守られながら失敗を繰り返し空回りをしつつも、自分にできることを見つけていきたいと思っている今日この頃です。(緒方洋子)



3月	2月	1月 ('04年)	('03年)	12月	11月	10月	9月
----	----	-----------	--------	-----	-----	-----	----

食工部お食事ツアー
 メンバー企画 回廊寿司ツアー
 パティンテカラテ作成
 いちご狩り 山梨県小曲町(ゆ社と合同)

ひなまつり ちしすしてお祝い
 手作りみそ仕込
 食工部ヘラチナイター大会
 クッキー 五〇〇愛発社納品
 常勤職員 森啓輔さん退席 控室
 もちつき大会
 手しごとクラブ(以縁部)づくり
 新年会 カラオケ・居酒屋旅行
 閉店後まったりして

ケキバイキング
 閉店後まったりして
 車庫一泊バス旅行(ゆのもり合同)
 調布市役所施設見学(職員の手)
 手作り料理発表会
 バンコク(調布)遊学(井氏)

つくってたべよう ぎょうざごまだんご
 食工部パン祭り参加
 新イトーヨーカドー+喫茶の里ツアー
 メンバー企画 カラオケとお茶
 つくってたべよう ロストピフ
 バンコク(調布)遊学(井氏)

つくってたべよう ぎょうざごまだんご
 青森県観光(ゆのもり合同)
 手しごとクラブ(以縁部)づくり
 お台場日帰り旅行
 回廊寿司ツアー
 つくってたべよう リパーク

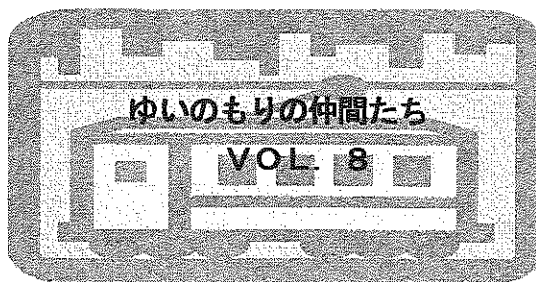
多摩地区バレーボール大会(ゆのもり合同)
 湯楽の里 入道会
 立川防犯館で消火器体験
 ぶどう狩り 山梨県勝沼(ゆ社と合同)

「せいほ」って...生命保険のことかしら...

ゆいのもりも
署名や活動に協力

ひまわり号

多摩西部実行委員会



私がひまわり号と出会ってもう21年目になります。1984年11月に昭島実行委員として結成し、1996年に名称を多摩西部実行委員会と

障害をもつ人とその家族そして、車の旅を続けています。また、ちが参加しています。札幌から約30万人と950本の列車が走っ

今年のひまわり号は10月24日
泉やぶどう狩りやワイン工場見学など
くの人たちのご参加お待ちしております。

また、今年は、平成19年の拝島駅の全面改装に向け、男女別バリアフリートイレの駅舎内と駅前広場への設置、各ホームへのエレベーター設置等を昭島市と福生市に呼びかけています。皆様には署名にご協力いただきました。ありがとうございました。



改め、今年で21年目を迎えます。

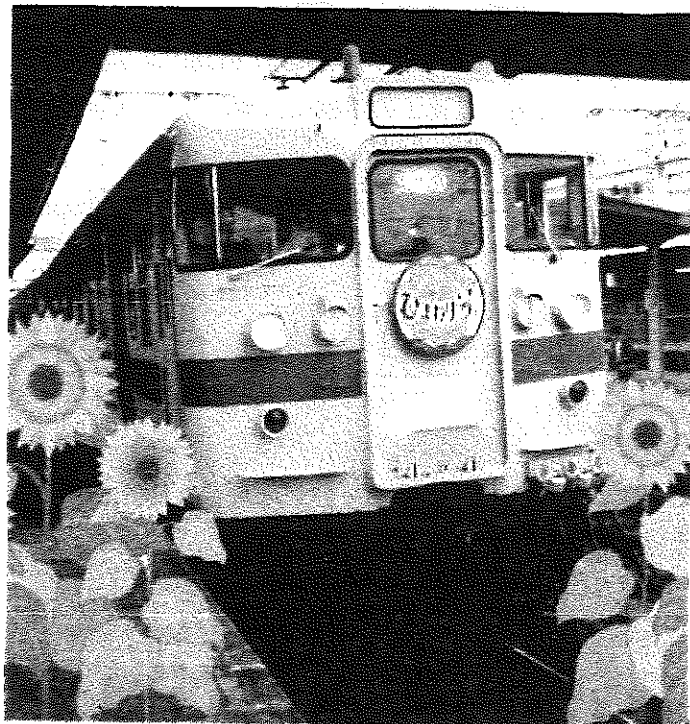
ボランティアの参加で年に一回楽しい列このひまわり号は全国でも多くの人た熊本まで61の実行委員会組織で年間ています。

(日)に石和方面へ向けて走ります。温たのしい企画を考えていますのでぜひ、多

ひまわり号を走らせる多摩西部実行委員会
事務局長 関根 修一

「ひまわり号」のあゆみ(抜粋)

年月日	目的地	参加総数
1984.11.3	上諏訪	(計157名)
1986.11.2	鎌倉市	(計133名)
1988.11.3	横浜・山下公園	(計120名)
1990.11.3	長滞	(計60名)
1992.10.11	飯能市	(計58名)
1995.11.11~12	新潟県塩沢町	(計115名)
1997.10.12	葛西臨海公園	(計113名)
1999.10.24	銚子市	(計112名)
2001.10.20~21	伊香保温泉	(計61名)
2002.10.27	東京ディズニーシー	(計159名)
2003.10.26	お台場の旅	(計86名)



★★★編集後記★★★

今年の夏は猛暑ですが、皆さんどのように過ごしていますか？ 初夏にしこんだ梅シロップ、梅ジャムがそろそろ食べ頃かなと楽しみな毎日です。(溪谷)